CITIZEN®

電波時計（デジタル電子音目覚まし時計）取扱説明書

取扱説明書番号 D055-CGXZ

～ 製品の特長 ～

- ●標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- ●暗くなると表示面を自動照明
- ●電子音アラーム機能

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

(Y1002)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

お問い合わせ先　お客様相談室　0120-557-005（フリーダイヤル）
受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「8RZ104」をお伝えください。

安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告　「**死亡または重傷などを負う可能性が想定される**」内容です。

注意　「**傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される**」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）

禁止　してはいけない「**禁止**」内容です。

強制　必ず実行していただく「**強制**」内容です。

■誤飲による事故防止について

警告　小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

分解禁止　分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

注意　本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

液晶表示板について

注意　表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸でよく洗い流してください。口や目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。

■使用場所について

禁止　下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- ●温度が＋50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- ●温度が－10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- ●浴室など湿気が多いところ。
- ●ほこりが多く発生するところ。
- ●テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- ●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ●温泉場など、ガスの発生する所。
- ●多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- ●軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

おもな製品仕様

使用温度範囲	－10 ～50℃ （液晶表示可読温度範囲0～40℃）
時間精度	表示精度 標準電波受信成功直後　±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30 秒（常温中のクオーツ精度）
使用電池	単3形アルカリ乾電池　JIS 規格 LR6　2個
電池寿命	約1年 アラーム音 30 秒／日鳴らし、自動照明 7 時間／日
標準電波	標準電波を受信して、日付・時刻を自動修正
受信局	福島局 / 九州局自動選択
受信 ON/OFF	ボタン操作で可能
受信回数	1日8回　受信開始時刻 1:16:40,　2:16:40,　3:16:40,　4:16:40 13:16:40, 14:16:40, 15:16:40, 16:16:40
アラーム機能	
アラーム精度	表示時刻に対して ±０秒
アラーム音	４段階電子音（鳴り方が変化）
スヌーズ機能	約５分間休止、操作７回まで
オートストップ機能	約２分で停止
温度表示	
表示範囲	−9.9～ +50℃
表示精度	測定温度範囲内で　±2℃
照明	液晶表示面を照明
自動照明	明暗センサーと連動して暗所で点灯
手動照明	スヌーズボタンを押すと約3秒間点灯
時刻表示	12/24時間制表示切り替え可能
カレンダー	2008～ 2099 年まで対応

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなることがあります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

単3形アルカリ乾電池	2 個
取扱説明書・保証書	本書

GUARANTEE

保証書

取扱説明書にそった正常な使用状態で、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計をお買い上げ販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。
尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保存してください。

※品名・型番　8RZ104
※保証期間
お買い上げ　　年　　月　　日より　1 年間
お客様ご氏名　　　　　　　　　様
ご住所
TEL（　　　）　　－
※販売店印（所在地、店名、電話番号）

本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
※印は販売店記入

保証について

■販売店の方へ
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。
1.保証書のご提示がない場合。
2.保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3.お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4.お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
5.天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6.お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7.ご使用中に生じる外観上の変化（ケース、ガラスなどの小キズ）
8.電池の交換

送料・出張料は、実費をお客様にご負担願います。

- ●部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- ●この保証書は国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.
- ●ご記入いただきました個人情報は、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

電波時計について

電波時計とは

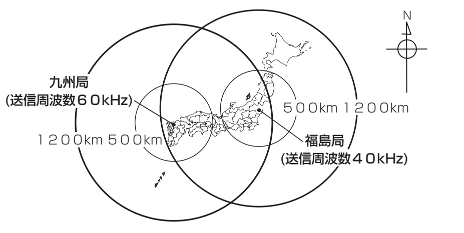
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。 (http://jjy.nict.go.jp)

電池のご注意　（電池の正しい使い方）

電池のご使用上のポイント　正しく使って事故をなくしましょう

- ●プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。
- ●種類の異なる電池を混ぜない 。
- ●長期間使用しないときは電池を取り外す。
- ●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- ●幼児の手が届かないところに置く 。
- ●古い電池と新しい電池を混ぜない。
- ●時計が動いていても定期的に交換する。
- ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- ●電池を新しくするときは、全部取り替える。

電池の種類について

- ●本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- ●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。㊟ **アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。**
- ●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- ●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
（例 . Panasonic オキシライド乾電池）

取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

注意
- ●電池に傷をつけたり、分解しない。
- ●電池を充電しない。
- ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- ●電池をショートさせない。
- ●時計を使用しないときは電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

警告　**電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。**
衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

注意　**もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。**
ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- ●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- ●使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。
- ●買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

電池の廃棄

- ●お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

注意　火に入れると破裂の原因となり危険です。

お手入れについて

- ●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計の廃棄

- ●お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

静電気による誤作動について

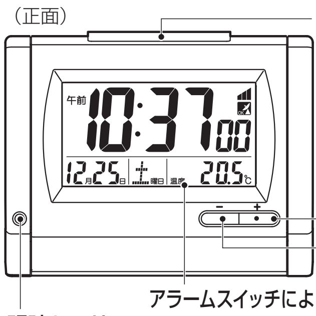
静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

1. 電池を入れて時刻を合わせる

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

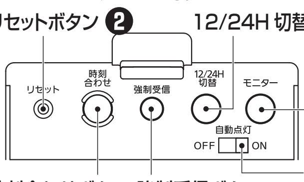
（正面）



スヌーズボタン
ライトボタン兼用
＋（進む）ボタン
－（戻る）ボタン
明暗センサー
アラームスイッチにより表示が変わります
ＯＮ：アラーム設定時刻を表示
OFF：温度表示

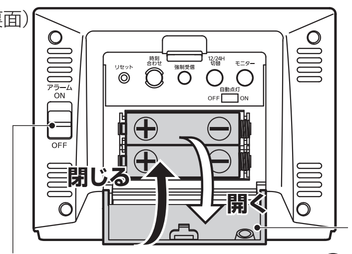
液晶の特性として、見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えることがあります。この時計は、正面およびやや上方から見たときに見やすくなります。

ボールペンの先などで押す。



リセットボタン ❷　12/24H 切替ボタン
アラームモニターボタン
自動点灯スイッチ
時刻合わせボタン　強制受信ボタン

（裏面）



裏ぶた
アラームスイッチ
電池を入れる　❶
単3形アルカリ乾電池　2個

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**電波を受信できない場合**の「手動での時刻合わせ」をお読みください。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。
※電池を入れるときやボタン操作をするときには、裏ぶたを開けてください。

❶ 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単3形アルカリ乾電池を2個入れる
※電池を逆向きに入れると液もれ、発熱、破裂の危険があります。

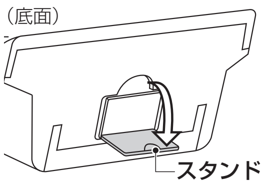
❷ リセットボタンを押すと「ピー」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します
◎電池を入れた後は、必ずリセットボタンを押してください。
◎受信中はボタンに触れないでください。

❸ 受信結果を確認する　☞【受信の流れと表示】参照
最長で約21分間受信を行います。終わるまで待ちます。
受信マークで受信結果を確認してください。
点滅：受信中
点灯：受信成功
消灯：受信失敗→「電波を受信できない場合」へ

電波の受信中に**＋または－ボタン**を押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯し受信を中止します。

ちょっと便利な使い方

（底面）

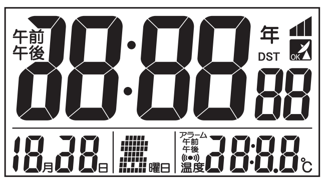


スタンド

時計が目線より上にあるときに、底面のスタンドを引き起こして置くと表示が見やすくなります。

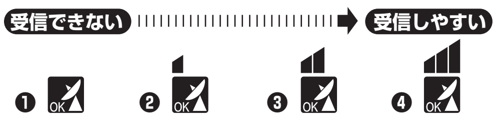
【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉



〈受信開始〉
受信マーク（受信中点滅）

受信マークの変化　電波の状態により変化します。（電波サーチ機能）

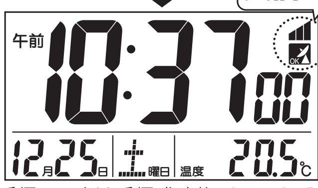


※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2008年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

チェック！
1～2分経過しても❶または❷の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えて**リセットボタン**を押し、再度受信を開始させてください。

〈受信終了〉
最長21分後

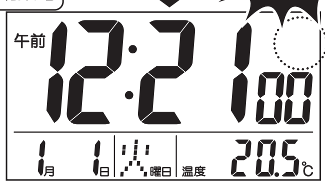
受信成功
受信マークが点灯



受信マークは受信成功後、24～25時間点灯

（受信に**成功**したときの表示例）

受信マーク消灯
失敗！



※受信に失敗した場合は、時刻や日付は正しくありません。

（受信に**失敗**したときの表示例）

受信マークが点灯し受信成功を示しても、電気的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてからリセットボタンを押して再度受信を試みてください。

電波を受信しにくい環境

つぎのような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所（取扱説明書の日本地図を参考）に、なるべく時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

受信できない場合は、下記の操作でご使用になれます。

■ 手動での時刻合わせ

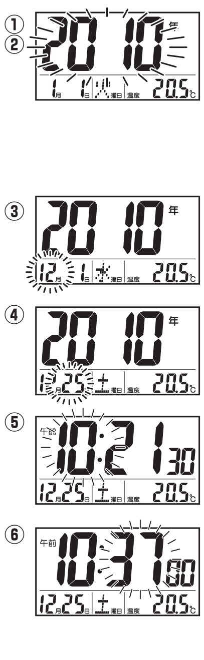
(1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
(2)西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定します。
▶**＋または－ボタン**を押して数値を合わせます。押してすぐ離すと1つ単位に変わり、押し続けると連続して変わります。
▶**時刻合わせボタン**を押すとつぎのステップに移ります。

- 電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。
☞ Ⓓ 電波受信機能のON／OFF操作 参照
- **約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、手動時刻合わせを終了します。**
- 電波を受信できない場合は、平均月差±30秒になります。
- 時刻表示は12／24時間制がありますので、合わせるときに注意してください。
- 電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。

（裏面）　（正面）

時刻合わせボタン　－（戻る）ボタン ＋（進む）ボタン

操作例. 2010年12月25日午前10：37に合わせる



①時刻合わせボタンを約2秒間押しつづけます。
西暦年が点滅します。
②**＋または－ボタン**で「年」を「2010」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
③**＋または－ボタン**で「月」を「12」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
④**＋または－ボタン**で「日」を「25」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
⑤**＋または－ボタン**で「時」を「10」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
⑥**＋または－ボタン**で「分」を「37」に合わせます。このとき**＋または－ボタン**を押すたびに秒は「00」秒に設定されます。
時刻合わせボタンを押して設定を終わります。

2. アラーム機能の使い方

アラーム時刻の合わせ方

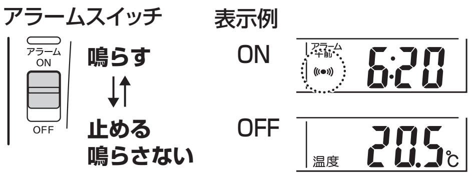
◆午前/午後の表示に注意
表示されていない場合は24時間制の表示です。

アラーム時刻　－（戻る）ボタン ＋（進む）ボタン

表示例　アラーム時刻を午前6時20分に合わせる。

①**＋/－ボタンを押してすぐに離す**
「**アラーム**」の文字が点灯、アラーム時刻が点滅表示。
②**＋/－ボタンを押してアラーム時刻を合わせる**
＋/－ボタンを押しつづけると早く変わります。
③**アラーム時刻合わせを終わる**
およそ5秒間ボタン操作をしないと、点滅が止まり、アラーム時刻または温度表示に切り替わります。

アラームのON/OFF設定



アラームスイッチ ON：設定時刻にアラームが鳴る
▶アラームマーク ((•)) が点灯して、アラーム時刻を表示します。

温度を確認するときには、アラームスイッチをOFFにしてください。

アラームスイッチ OFF：止める、鳴らさない
▶温度を表示します。

アラーム音の試聴

アラームモニターボタン

アラームモニターボタンを押すとアラーム音が約2分間鳴ります。アラームが鳴っているときに再度アラームモニターボタンを押すと停止します。

アラームオートストップ機能……（自動鳴り止め）

鳴っているアラームを放置すると約2分間で終了します。

スヌーズ機能……（止めてもまた鳴る）

アラームが鳴っているときに、時計上部にあるスヌーズボタンを押すと、アラームマーク ((•)) が点滅し、約5分間アラームが停止し、また鳴り出します。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク ((•)) は点灯表示になります。

アラームご使用上の注意

アラームマーク ((•)) が点灯しているときは、アラームスイッチがＯＦＦにされるまで毎日アラームが鳴ります。

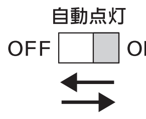
電池の交換について　早めに交換して液もれを防ぎましょう

注意
電池からの液もれにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなったり、アラーム音が鳴らなくなったときは、すべて新しい電池に交換するか、電池を取り出す。
- 古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

Ⓐ 表示面の照明

自動点灯スイッチ



自動照明
自動点灯スイッチをONにすると、明暗センサーと連動して暗くなると表示面を照明します。
※自動照明は受信中消灯します。

手動照明
時計上部にあるスヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねていますので、ボタンを押すと表示面が約3秒間照明されます。自動照明よりも明るく照明します。

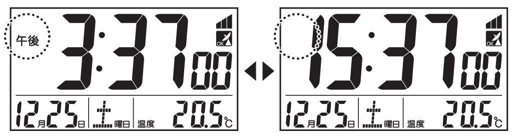
◎昼間や夜間の照明時などでも明るさが不足すると明暗センサーが反応します。

Ⓑ 時刻表示形式の切り替え……12/24時間制の切り替え

12/24H切替ボタンを押すと、時刻の表示形式が変わります。

12/24H 切替ボタン

12時間制
午前12:00:00
～
午後11:59:59



24時間制
0:00:00
～
23:59:59

◎手動で時刻やアラーム時刻を合わせている最中、アラーム状態、電波受信中のときは切り替えできません。

Ⓒ 温度表示

センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度を反映するまでには時間がかかります。
測定範囲を超えたときの表示とその意味
温度 「HH.H」 50℃より高温 「LL.L」 －9.9℃より低温

㊟本製品は室内用ですので、室内の温度計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度管理を行う用途には適していません。

Ⓓ 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF（無効にして手動で時刻を合わせる）
リセットボタンをおよそ1秒間隔で3回押してください。
○リセットボタンを押すと「ピー」と鳴ります。
○押すタイミングは、「ピー」の後に押してください。
○OFFになると音が鳴りません。

受信機能 ON（有効にして受信を開始する）
先に**－ボタン**を押し続けながら、**リセットボタン**を押すと「ピー」と鳴って受信を開始します。その後に**－ボタン**を離してください。
標準電波の受信を定期的に行います。

◎リセットボタンを押すと2008年1月1日午前12:00　アラーム時刻 午前6:00に設定されます。
◎操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。
◎電池を取り外すと受信機能は「ON」になります。
受信機能がOFFのときに電池を入れ替えると、回路の残留電荷のため、受信機能がONにならないことがあります。このようなときには、受信機能をONにする操作をしてください。

Ⓔ 強制受信とリセット操作

強制受信…………標準電波の受信を開始する
強制受信押すと受信マークが点滅して受信を開始します。
場所を移動したときなどに、受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。
つぎのようなときは受信を開始しません。
- アラームが鳴っているときやスヌーズ中
- 手動でアラーム時刻または時刻を設定している最中

リセットボタン
電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。
リセット直後は、2008年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に設定されます。
受信機能が**ON**のときは受信を開始します。

◎受信機能がOFFのときは、強制受信またはリセットボタンを押しても受信を開始しません。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状況については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。受信機能がONの状態では、まれに日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。